

「破損」

被成候目出度御事「破損」浦山敷
申事候、以上

四月三日御息惣介殿ニ御
越候御状殊紫下緒一具
被懸御意忝存候、先以
御子息様今度初_而御
参勤、此方_{ニ而}四郎五郎
差図_{ニ而}御元服、名も則
九右衛門殿ニ御替首尾能
早速御目見御老中様へも
不残掛御目、万事様子
能御仕廻御帰候間、御恐悦
之段察入候、拙者も別_而
御代々得御意候間大慶仕候

一 貴様御眼病氣_{ニ者}候得共
御息災之旨目出珍重候
久不能面上御遠々敷存候
遠国之儀候間最早懸
御目間敷_与存候、幾年も
書状_{ニ而}可得御意候、御息様
御名代_ニ御越候間御心易
緩々_与御休息何ヶ年も
御無事御入可被成候、能御子息様
御持御浦敷儀と御噂
申暮候

一 御息九右衛門殿委細
御物語_{ニ而}可有御座候
四郎五郎一家堅固、拙者も
無恙罷在候間可御心易候
竹嶋へ用之儀別紙書付
御子息様へ相渡候、村川
市兵衛殿と御相談御調
大坂迄御越可被下候、右之旨
拙者方より申入候得と四郎五郎

被申候間如此候、爰許之
御様子^者九右衛門殿同手代
彦右衛門方具咄可被申候
随分馳走申候、猶期
後音之時候、恐惶謹言
龜山庄左衛門
六月朔日 □□（花押）
大屋九右衛門様
御報